Sr. M. Kobayashi
R. Galvão Bueno, 407
Nesta

伯國聖市マエストロカルヂン街一一〇九
發行所
ブラジル朝日新聞社
本紙定價年六十ミル
外國郵稅共百廿ミル

日米關係は極力善處

米洲各地の在留同胞よ
第三國のデマに惑ふな
情報局、まづ不安動搖を一掃

（東京十五日同盟）最近極東情勢が極度に緊迫し、これをセンセーショナルに扱ふ外國筋電報がメキシコシチーその他北米各地の新聞に大々的に扱はれ、米洲在留邦人商社ならびに居留民に不安を與へてゐるが、これら爲にせんとする外國側宣傳に對處し、十五日正午石井情報局第三部長は左の如く語り在外同胞に要望した

日米關係極度に緊迫してをるものと斷ぜられず、兩國政府のみが米洲各地に傳へられ當該地域における在留同胞間に不安動搖の色あるやの報道あるところ、日米關係は相當緊張しをるも必ずしも戰爭等に至るの在留同胞はあくまで腰を落着け業務に從事し苟しくも動搖するが如きことなからんことを切望しをる次第である

らるる、政府としては米洲各地傳するためにする所爲と認め

最近の日米關係は不幸にも太平洋の兩岸において可成りの關心がもたれ

大使の職務に助力
ル大統領の回答

大統領回答
大使の日米友好關係に對する献身的熱意に感み、余は

ねばならぬ有樣になつてゐる、現在こそは兩國民の利益と福祉を擴張し太平洋の平和を維持し兩國間の傳統的友好關係を維持するため他の如何なる場合にも增して相互の立場についてよりよく諒解しなければならないときである、この目的のため余はその全力を傾倒するつもりである

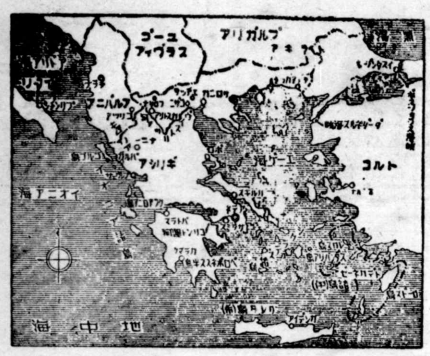
野村大使
信任狀を捧呈

【ワシントン十四日同盟】野村大使は十四日正午國務儀典課長代理ウッドワードと同道ホワイト・ハウスに到着、大統領事務所においてルーズベルト大統領と會見、信任狀を捧呈した、この信任狀捧呈にはハル國務長官も列席前後二十分間三者の間に隔意なき懇談が行はれた

傳統的な友好關係
お互に立場を諒解
野村大使のメッセージ

【ワシントン十四日同盟】野村大使は信任狀捧呈當日左の公式メッセージを發しルーズベルト大統領は左の回答を發し野村大使メッセージ

獨、ユーゴ通過を要求
電擊態勢愈よ成る
トルコは依然强硬態度



【ニューヨーク十四日同盟】バルカンの情勢に關する各地の情報を綜合するにドイツは決定的行動に出る前に二方面にわたり万全の準備を進めその工作完了をもつて電擊的行動に出でんとしてゐる模樣である、即ち

一、十三日急遽ドイツに向つたユーゴーのツベトコビツチ首相、マルコビツチ外相は十四日リツベントロップ獨外相と會見、つゞいてヒトラー總統と懇談する豫定といはれるが、ドイツはユーゴーに對しても獨軍の同國領通過を要求してゐるものゝ如く獨軍の大部隊はすでにダニューブ河畔に集結を完了、一擧にユーゴーから鐵道を利用してベルダン河溪谷を（ユーゴーを發じてサロニカに出る）南下、ギリシヤに迫る作戰と見られる

一、ドイツのブルガリアに對する工作も着々進捗し、すでに同國内には約二万人に上る特殊部隊が入りこんでゐるといはれ、飛行場をはじめ主要軍事施設は悉く獨軍の支配下にあると信ぜらる

一、一方ドイツはトルコに對しても獨軍のブルガリア進駐の際これを承認せしむべく工作してゐる模樣だが、この交渉はまだ成功を收めてゐないものゝ如く、十四日トルコ各紙は依然强硬な論陣を張り獨軍ブルガリア進入の際は一戰をも辭せずと主張してをり、これと關聯してブルガリア・トルコ兩國間にもすでに最悪の場合を覺悟したものゝ如く、ユーゴーのビトリー電報はギリシヤが十四日大規模の動員を行ひ、空軍關係では三十三年度から三十五年度までの全豫備兵および三十六年度から三十七年度までの全特科兵その外三十八年度の特科兵の召集をなし、また海軍は三十三年度の豫備兵全部の召集を行つたと報じてゐる

ルマニアは敵國
英、經濟戰爭相態度を表明

【ロンドン十四日同盟】英經濟戰爭相は二月十五日以後ルマニアを敵國占領地と看做す旨發表、戰時密輸取締法を適用してルーマニア原產および ルーマニア人所有の商品は押收されることあるべしと貿易業者に警告した

米、アラスカを結ぶ
飛行基地を建設か
カナダ空相計畫を發表

【ニューヨーク十四日同盟】APワシントン電によればカナダのパワー空相は十四日豫算約百萬ドルをもつて米國とアラスカを結ぶ飛行基地の建設計畫を發表した、計畫の詳細は不明だが大體本年末までにアルバータ、ブリチツシンユ・コロンビアのカナダ西部二省を通じアラスカに行く間に七ケ所の飛行場を建設せんとするものと見られる、米、カナダ兩國間にはいまだ右飛行場の使用につき協定は結ばれてない模樣だが、從來の兩國關係から見ても米國は當然の設備を利用しうることゝなるべく、この場合は現在の飛行機を海路により輸送するのに比しアラスカの防衛上多大の便宜が與へられることゝならう

武器貸與案通過
だがその後の問題に紛糾？
米内閣にヒビ入る

【ニューヨーク十五日發】消息通は武器貸與案は大體三月中旬議會通過と見、その後の問題につき紛糾が豫想される大統領、ウイルキー、サラガディらは大規模の援英を唱えノックス、ケネディ、タフトらは國防第一を標榜してをり何れにせよ現内閣にヒビが入ると見る向きが多い、ウイルキーの驅逐艦供與計畫は議會に對する一つの探りだと見られてゐるが、渡英の際英より受けた懇請された同計畫具體策は三つある、驅逐艦はその第三案で必ずしも重要ではないといはれる、國防計畫の政府の態度は豫想外に成績良好を唱えるが、特に錫、ゴム、タングステンの輸送速度は昨今速められてゐる

民の福祉のために努力をつくし、よりよき諒解を齎らすべく決意してゐられると の確言を聞いて欣びに堪へない、余は大使の職務に出來る限りの助力をなすべく不斷の用意をもつてゐる、終りにのぞみ余は陛下の聖壽萬歲を祝賀して止まない

工作では抑制困難だからその調査をはじめ、グラス大蔵院判事が委員長となる見込みである、最近軍需品の取得特に極東よりの輸入品の蓄積はなほ多く、拍車をかけられてゐるが、特に錫、ゴム、タングステンの輸送速度は昨今速め

わが艦船の近海移動
別に珍らしくはない
野村駐米大使記者團に語る

【ワシントン十四日同盟】野村大使は信任狀捧呈直後内外記者團と會見質問に對し次の如く答へた

本日は大統領から溫かい歡迎をうけいろ〳〵懇談した話の内容は勿論日米關係にふれたものだが、發表の自由をもたない、日本海軍の動きがあると却つて驚いてゐるようだが、自分はなんら公式報告をうけてゐないしかし日本の商船や軍艦が日本近海で移動することはなにも珍らしいことではない

不可侵條約尊重せよ
タイ國、英側へ注意を喚起

【バンコック十四日同盟】タイ、佛印紛爭調停に伴ひ日本の南方における發言權の增大を恐れる英國は必死の對策を講じ、陸海空軍をタイ國々境地帶に增强し威嚇態勢を整へつゝあるが、これに對しタイ國政府は十三日

對英友好關係は何ら毀損されておらず、英國は兩國不可侵條約を尊重すべきである

旨の聲明を發して英側の注意を喚起した

明年度の總豫算額
貴族院完全に通過
尨大！ 百十七億四千萬圓

【東京十五日同盟】十五日の貴族院本會議は午前十時十二分開會、直ちに日程に入り

一、昭和十六年度歲入歲出總豫算案
一、昭和十六年度特別會計歲入歲出豫算案
一、豫算外國庫の負擔となるべき契約を左すを要する件
一、昭和十五年度歲入歲出總豫算追加案
一、昭和十五年度特別會計歲入歲出豫算追加案
一、臨時軍事費豫算追加案

を一括上程、豫算委員長井上匡四郎より委員會の審議經過ならびに結果を報告の後討論に入り

兒玉秀雄伯　現下非常時局に對照して萬度國防國家確立のため軍備は不可缺のものであり政府もこの點に留意して軍事豫算を編成、その根本を確立したことは適切である

建部遯吾氏　現下の世界情勢を見るに凡て神經衰弱となり國際的には宣傳が、國内的には流言蜚語が亂れ飛ぶこの間に處し帝國は八紘一宇の精神を國是とし大東亞共榮圏建設に邁進せねばならぬ

かくて討論を終り採決に入り全員起立して可決確定、こゝに十六年度總豫算六十八億六千万圓、臨時軍事費四十八億八千万圓、合計百十七億四千万圓および十五年度特別會計追加豫算九百十万圓合計二百万圓に達するそれ〳〵豫算は兩院を通過し成立を見た、次で

一、昭和十六年度一般會計歲出の財源にあつるため公債發行に關する法律案
一、昭和十五年法律第七號中改正法律案
一、昭和十三年法律第二十三號中改正法律案

その他三件を可決、昭和十四年度總決算關係案を一括議案とし委員長報告通り承認可決午後零時四十五分散會

鐵鋼增產確保へ
商相、平生、鮎川氏らと懇談

【東京十四日同盟】政府は日獨伊三國同盟成立後の國際情勢に即應して東亞共榮圏における鐵鋼の自給自足確立のため本年度鐵鋼生產力擴充計畫を樹立、鋭意これが實現につとめてゐるが、小林商相は十八日日滿兩國の鐵鋼、石炭業界の指導的立場にある日鐵社長平生釟三郎、日炭社長松本健次郎、滿業總裁鮎川義介の諸氏を招致し十六年度における鐵鋼增產の具體的推進方策を中心として原材料の取得斡旋を貫く最重の問題に關し隔意なき意見を交換することゝなつた

わが軍屬狙擊犯
遂に死刑

【北京十五日同盟】昨年十二月廿日北京市内警察中の北支軍所屬乘象悅郎、同喬月保兩長平生釟三郎、日炭社長松本賀（三五）邱裕民（三五）の兩名は日本憲兵隊で逮捕、爾來北支軍律會議において鋭意取調中のところ去る十二日犯行事實明白なるため支那派遣軍々律會議に照らし兩名に死刑の判決あり十五日午後刑を執行された

日ソ關係頗る順調
松岡外相衆院で答辯

【東京十四日同盟】松岡外相は十四日衆議院豫算總會において日ソ國交調整に關する質問に對し詳細な答辯をなしたが、その中において外相は日ソ漁業本條約締結交渉とは別個に北京基本條約に基く日ソ通商條約交渉が開始され順調に進行してゐると言明、さらに全般的國交調整については各種の角度から積極的な努力をつゞけてゐる旨明かにした

大角大將らの遺骨
空路帝都に歸る
盛大な合同海軍葬を執行

【東京十四日同盟】大角大將以下十氏の遺骨は來る十七日空路東京に歸還するが一旦自宅に遺骨を安置、通夜の上廿日午後一時から築地本願寺において永野修身大將葬儀委員長となり盛大な合同海軍葬が執行される

同南阿騰邦　横山正幸
依願免本官各通　岡田兼一
兼任外務省事學官　櫻井
海軍々醫大佐　小田一昭
海軍主計中佐　石井秀次郎
蘭領東印度に派遣の特派使節隨員を命ず

重慶側通信社
新嘉坡に支局

【上海十五日同盟】ロイター重慶電によれば重慶の機關通信中央通信社は支局をシンガポールに新設するはずである

外務辭令

【東京十五日同盟】外務辭令
大使館參事官　森島守人
任ず總領事ニューヨーク在勤
大使館一等書記官兼領事　江口貞夫
任大使館參事官米國在勤仰付らる
特令全權公使ス（ペイン）

北江左岸地區
殘匪淸掃戰

【廣東十四日同盟】去る九日北江左岸地區に展開された遊擊隊模範地掃滅戰々果左の如し

敵屍六五〇、投降者二百餘
鹵獲品發動機外多數

爲替（聖市十五日）

	自由	公定
伯英	一ペンス0.10	六ペンス0.00
伯米	一ドル＝六四〇	一ドル＝五三〇
伯日	—	—

革新の怒濤
木村莊十

（紙芝居上演上映）

佐々木今朝吉畫

（一一五）

尾行る者

したゝかに甲手を打たれた上淨薬で投つけられた大六。
「あゝッ、啓之助様ッ」
「おゝッ、雪江どのかッ」
啓之助も、驚きの聲をあげて、雪江に早く去れと眼で知らせた。
大六は、啓之助と聞くと、しびれた手首をふり乍ら逃げ腰で叫んだ。
「なにッ、啓之助！　畜生、よ、よくも」
「ふむ、柄に手をかけて俺を斬る氣か」
「無禮なッ、ゆ、許さんぞ」
「許せと誰が申した？」
啓之助は、早く行けッ、雪江とお綾に手を振乍ら云つた
「暫つて見ろ！　だが馬鹿嚊子の太鼓を叩く樣な譯には行かんぞ！」

「な、なに！」
大六は、素早く、田村の門内に逃げ込んで、
「出合へ、東禪寺襲撃の徒だ！　お嬶れの疑つてゐる淺香啓之助だ！　早く出合へ」
叫び乍ら、玄關へ飛び込んで行つた。
「しまつた！　雪江どの何故逃げないのです、早くお逃げなさい、かゝり合ひになると大變だ」
「はい」　「あなた樣も」
「私は大丈夫です、こゝで、烏渡食ひとめる、貴女はその間に早く逃げて下さい」
しかし、雪江は逃げようとしなかつた。
漸く、めぐり合ひ乍らこゝで別れてしまつたら、又、何時の日に逢ふことが出來るのだらう。生きて二度と會へるかどうか、それさへ分らない。啓之助の身の上ではないか。
「雪江どの、早く」
啓之助は、躊躇して動かない雪江の樣子に氣が氣ではなかつた。
たまらなくなつて、いきなり雪江の手をひつつかんで一緒に逃げ出したが、雪江の柔かい、温つたかな氣を感じ乍ら

「はい！」
雪江の身を搾るやうな聲、
お綾はその手を確かり振つて駈け出さうとしたが、横町から飛んだ言葉に北川の顏にちらつと動搖の色が走つた。
「さうか、土藏形式中島を殺したのも貴樣の仕事だな…よし今日は逃がさんぞ、云ひ度いことがあつたら、今のうちに言ひ殘して置け」
しかし、啓之助は、もう一言も喋らなかつた。靜かに雪江を背後へかばつて、桑島左右の鋼を滑らぐつと引抜いて鯉口を切つた。

「おゝ、貴樣ア北川周馬！」
「え！　身共をどうして北川と知つた？」
「女の後を尾けさせる樣な奴は貴樣に決まつてゐる、別に中島が喋つた譯ではないさ」
皮肉な言葉に北川の顏にちらつと動搖の色が走つた。
「さうか、土藏形式中島を殺したのも貴樣の仕事だな…よし今日は逃がさんぞ、云ひ度いことがあつたら、今のうちに言ひ殘して置け」
しかし、啓之助は、もう一言も喋らなかつた。靜かに雪江を背後へかばつて、桑島左右の鋼を滑らぐつと引抜いて鯉口を切つた。

「あゝッ」
「淺香！　情がないぞ、もをつとゆつくり別れを惜んでやれ」
「おゝ、貴樣ア北川周馬！」
「え！　身共をどうして北川と知つた？」
「女の後を尾けさせる樣な奴は貴樣に決まつてゐる、別に中島が喋つた譯ではないさ」
皮肉な言葉に北川の顏にちらつと動搖の色が走つた。
「さうか、土藏形式中島を殺したのも貴樣の仕事だな…よし今日は逃がさんぞ、云ひ度いことがあつたら、今のうちに言ひ殘して置け」
しかし、啓之助は、もう一言も喋らなかつた。靜かに雪江を背後へかばつて、桑島左右の鋼を滑らぐつと引抜いて鯉口を切つた。

「あゝッ、未練なッ、早く逃げて…貴女は私を奴等の手に渡すつもりか」
「えゝッ、雪江どの、逃げて下さい、愚圖々々してゐると大六が人數を連れて來る」
「は、はい」
「無ッ、な貴女を見て…私はもう…思ひ殘すことはない…私のことは、無い者と思つてどうか幸福に…」
「あゝッ、厭です、私はそんなッ」
「えゝッ、未練なッ、早く逃げて…貴女は私を奴等の手に渡すつもりか」
「啓之助樣ッ」
「

有難い政府の親心
棉花にも融資決る
基準價格四五ミルに規定

コスタ藏相は十四日大藏省において省會議を開き珈琲および棉花に對する政府の融資擴大について發明を行つたが、新聞記者の傍聽を許した、藏相はまづ珈琲農業者に對する三ケ年にわたる金融擴大は不況に喘ぐ聖州珈琲界を必ず好轉せしめるであらうと冒頭し政府は伯銀を通じすでに棉花に對しても融資を行つてゐる

即ち伯銀は現在精棉に對しその日の相場の六割までは貸出しを許し期限は六ケ月としてゐる、しかし輸出不振を告げてゐる現狀では未だ救濟は充分に行はれてゐないため、今回伯銀は遂に六割の貸出しをさらに擴大、五級品の基準價格四十五ミルを定め八割貸出しを行ふに決したと述べてゐる

貧弱な内國船輸送力
國益を外國に流出
伯國海運業の發展强調

ブラジルからの輸出物資をブラジル臨一の船會社ロイド・ブラジレイロがどの位運ぶかといふことは年度別に示せば

一九三六年 三五、四二%
一九三七年 三三、八二
一九三八年 三三、五六%
一九三九年 三八、四二%

となつてゐる全輸出量に對する割合から見ればそれ〳〵七%四五、八%一六、六%三二七%五九となつてゐる、その他の内國汽船の輸送力といふものは知れたものであるからこのロイド汽船の輸送量外は殆ど全部外國船の輸送する所であつてこれだけ國益は外國に流出するわけだ、海運業奬勵がいろ〳〵と叫ばれてゐるのも無理は無い

一九三七—三八年ロイドはサントスから珈琲を九、九五三、八〇五袋、中六六〇六〇三袋を海外へ輸送してゐる、この運賃一一九、八六〇コント中四、五一一コントはロイドの手に落ちたが約一一五、〇〇〇コントは外國船の收入するところとなつたのである、こゝにも海運業不振のためみすみす國富を外國に奪はれてゐる一面がある

ロイドの所有船舶は一九三九年末現在六六隻、登簿噸數合計二八九、三六一噸、これが同年を通じて三、二二八、二七六噸の貨物を輸送してゐるブラジルにはロイドの外に航路を有する船會社はコスティラ、ロイド・ナショナル、ヘブケ、カルボニフェイラ、コムメルシアルなどあるがこれらを合せて所有船舶六十一隻登簿噸數合計一七三、〇六三噸、三九年度の運輸量合計四六八三、七八九噸であつたからロイドよりも隻數において五隻少なくしかも輸送量において一、四五五、五一三噸も多いといふ成績を示してゐることは一考を要する點ではなからうか（ロイド汽船會社支配人ドウトラ氏報告による）

小麥種子入用者は
早く申込んで下さい
期限は今月一杯です

市内マタラゾ・ビル九階の聯邦農務省殖產局では農業者に小麥および大麥の種子を無料で配布してゐたが、今年度配布は本月末まで〳〵打ち切ることゝなつた、申し込み用紙は州内各郡役所にあるから申し込みもれの農業者は至急申告すること

ロテリア・パウリスタ
聖市警察に移管
管理者にランジエル少佐

ロテリア・パウリスタは州政府經營事業の一つとなつてゐるが、さる十四日よりこれの經營を聖市警察に移管しカルネイロ・ダ・フオンテ氏はマリオ・ランジエル少佐を擔當官に任命した、同日午後二時ジョゼー・ボニフアシオ街のロテリア抽籤場にカルネイロ・デ・フオンテ氏は陸軍副官と共に到着、既着のマリオ・ランジエル少佐、聖市警察鑑識課長アウグスト・ゴンザカ氏らに迎へられ新聞記者、聯邦政府監督官に挨拶の後抽籤が開始され百コントの當選番號が決定された、抽籤終了後カルネイロ・フオンテ氏は所員の案内を受けて內部を見廻つたが、同所を去るに當りロテリア・パウリスタは近く一新紀元を劃することにならうと述べてゐる

お役人志望の
農學士に登龍門
近く農務省役人の採用試驗

農務省では農務省直營試驗場などに入用な農學士の採用試驗を聯邦府政廳において行ふが、申し込みはリオ・ベロ・オリゾンテ、サン・パウロ、ポルト・アレグレにおいて來る三月廿一日まで受付ける、志願者は願書に履歷書、農大卒業證書を添へて申し込むこと、なほ願書についての詳細は左記宛に紹介のこと

Secção de Fomento Agricola Federal Prédio Matarazzo 9 andar S. Paulo

執政官の招待で
工大研究所を見學
經濟振興評議員のお歷々

バーロス執政官の招待により州經濟振興評議員は十四日IPT（工大內の技術研究所）を訪問、バーロス執政官時代の新設備、事業など詳細にわたり見學した、なほ訪問者は評議員の他にジョゼー・ソブリーニョ農務長官、アドリアーノ・マルキーIPT所長ども同行した

軍民技術者の一團
聖市鐵工所見學の旅
特別列車で豪華な出發

軍民技術者の一團は聖市製鐵所を視察すべく十四日特別列車でリオを出發した、一行陸海技術士官、技師などにより構成されメンドンサ・リマ交通相も一行に加つて來聖の筈であつたが、急用のため一日遲れ空路出發の豫定

ブラジルの工業

最近の統計によるとブラジル全國には工場と稱すべきものが總計六万五千ほどあつて、之に働く從業員の數が約八十万人、その生產額が一ケ年およそ一千二百万コントに達するといふ、工場從業員の最も多いのはサンパウロ州を筆頭に左記諸州となつてゐる

サンパウロ州	一二〇、三二四人	一、五五一
聯邦都區	一一〇、三二七	二、五五三
ミナスゼラエス州	四〇、二四一	一、九一七
リオグランデドスール州	三六、五六九	一、九八八
リオデヂヤネイロ州	三二、九七七	九八八
パイヤ州	三二、六五九	五三三
ペルナンブコ州	三一、三八二	一、一一七
さらに工業生產額年額百万コント以上に達する州は		一、九一七
サンパウロ州	五、〇〇〇千コント	一、八八八
聯邦區	二、四〇〇	九八八
ミナス	一、一〇〇	五三三
南大河	一、一〇〇	四八三

オ兩州は何れも六十一万コントに過ぎない、次に聖州のエ場數をその種類別に示せば左の通りである

紡織關係工場	一、五五一
製靴工場	二、五五三
飲料製造工場	二、一一七
珈琲及製茶工場	一、九一七
什器工場	一、八八八
靴製品工場	九八八
鐵工場	五三三
チーズ及クリームチーズ工場	四八三
帽子工場	四八三
香水及化粧品工場	四五六
罐詰工場	四二四
製菓工場	三八七
煉瓦工場	三〇九
酢及油工場	三五六
豚脂及マンテイガ工場	三五六
インキ及塗料工場	一八九

狩獵家よ喜べ
昨日から
獵を解禁

狩漁局は本月十五日より禁獵を解禁する旨新聞宣傳局を通じ公布した

アラサツーバに
州立師範を新設

アラサツーバは今度州立師範學校が設立されることになり同地方民を喜ばせてゐる

航空施設地域
私有財產は
政府で買上げ

サルガード・フイーリヨ航空相は數日前民間航空發達を期し飛行場その他航空設地域にある私有財產は政府で買ひ上げる旨發表した

募集
事務員 數名

中學卒業程度以上二十五六歲迄
履歷書持參の事
直接面談左記へ

日伯社

BELLELLI, GOTTLIEB & CIA. LTDA.
Rua José Bonifacio, 204 - S. Paulo

タイプライター
（ロイヤル印改造品）
△サンパウロ、ミナス、パラナ、マツト・グロツソの各州唯一の代理店
△募集 自費に依る代理人

PHOTO-MAURO
高級寫眞館
最もよき
日本人の友
C. Postal, 353
P. Prudente

Elixir Nogueira
Grande Depurativo de Sangue
梅毒妙藥
萬國藥店に有り

アメンドインジヤポネース
製造元卸專門
菅井兄弟商會
聖市バロン・デ・イグアツペ街九三二
電話七—七二五五

Casa Allemã
紳士用夏向洋服
仕立入念でピツタリと身に合ひしかも
絕對に縮まぬ弊店洋服をお選び下さい
お値段は特別格安です

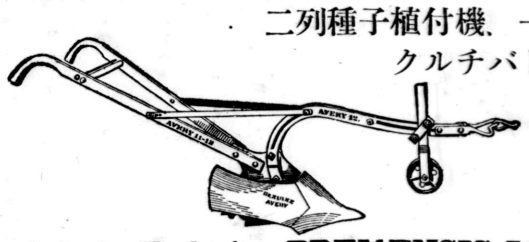
フアンタジアな毛織、麻	220$
純白リンニヨ	245$
白、眞珠色アイルランド麻	285$
栗色アイルランド麻	295$
純麻眞珠色	320$
純麻フアンタジア	330$
アイルランド麻S型120白	330$
アイルラド麻眞珠色	340$
アイルランド麻クリーム色	350$
アイルランド麻白色	370$
パーム・ビーチ、各色	395$

全て弊店にて入念水通しをしたものです
サンマー・ジヤケツ…280$
ズボン黑麻……130$
フアイシヤ 60$
夏期特價大賣出し
全店全品割引してあります
Shaedlich, Obert & Cia. Rua Direita, 162-190

時計店
Luiz Russo
直輸入……卸小賣
修繕、確實、正確
醫科用金寶卸
R. Quint. Bocayuva, 73
Phone 2-4498
SÃO PAULO

優秀繭いくらでも高價で買入れます
Sociedade Industrial Ltda.
R. Visconde de Parnahyba, 9 and. s. 823 814
Tel. 2-4092 - S. Paulo

アラード
獨乙製アラード・ジヤヴアリ (JAVALI)印 固定式
回轉式、米國アベリー父子商會 (B. F. Avery & Sons Company) 製農具アヴエリー (AVERY)印、アイベツカ・ヂスコ付アラード固定式及回轉式、グラーデス・デ・ヂスコス（デストロアデイラ）、アラバンカ付グラーデス・デ・デンテス、一列又は二列種子植付機、一頭曳クルチバドール



Sociedade Technica BREMENSIS Ltda.
Rua Florencio de Abreu, 815 - São Paulo

下元法律事務所
民事、商事、刑事、產業組合法
Dr. Cassio Kenro Shimomoto (Advogados)
Dr. M. C. Ferraz de Almeida
Largo da Misericordia, 9 and. s. 823 814
Tel. 2-4092 - S. Paulo

3-6382 電話
お泊りお食事は安くてきれいな
アジア旅館へ
歸國手續き迅速に取扱ひます
聖市グローリア街一九八（テアトロサンパウロ前）

Dr. H. FENICIO
Av. S. João, 536-6 and. - Tel. 4-1188
淋病 如何なる淋病も五日で完全治癒
北米式ケタリング法（洗滌注射を用ひず）
廉價

GIZ BRASIL
Escriptorio : Rua da Quitanda, 76 5.° and. Tel. 2-2539 C. P. 3223
外國製に優る國產白墨
學校、撞球場、洋服店で歡迎されて居ります

齒科 淺倉
聖市グローリア街三五二
電話 二—六八四六

GYMNASIO INDEPENDENCIA
Sob Inspecção Federal Permanente
校長 Dr. Raul Romano
教頭 Dr. Ayres de Sá
夜學部長 Prof. Vieira de Souza
入學受付
本校の組織並に方針
A) 聯邦政府公認の各科目を教授す男子、女子の二部より成立す女子部はCollegio de Santa Therezinha と稱す
B) 本校は智育のみを目的とせず體育、德育及情操教育を施す
晝間部
小學、受檢準備、中學科
夜學部
中學、マドンシーザ及受檢準備科
入學試驗
▲向二月末日に擧行の中學入學試驗受驗準備は當校に於て無料教授中
▲此の準備教授はグルツポの四年生又は之れに該當する資格所有者の爲特に考慮せるもの
▲授業時間午前8時—12時（晝間部）午後7時30分—10時（夜間部）
寄宿、通學
各校倉並に級に依り男女は區別さる
一般事務所（執務時間）8-12, 18-18
Rua da Liberdade, 532 (ant. 180)
夜學部事務所
（執務時間）14-17, 19-22
Rua da Liberdade, 574 (ant. 186)
Fone, 7-0317 C. P. 239 S. Paulo

S. A. F. R. A.
S/A Fazendas Reunidas Aguiar
Jacarezinho C. Postal, 34 - Norte do Paraná
無資本
六ケ年契約 珈琲植付農 募集

一、場所—北パラナ、ジヤカレジンニヨ、サント・アントニオ、バンデイランテスの各郡內、ドウラド、プレジオン、ナザレ、パウ・ダーレヨ、ベロバス、ジユンヂアイ、ベドラ・ブランカ、ボイ・ピンタード、ララランジンニア、タブリ等の各耕地に於て五十万本植付（初年度二十万本）
北パラナ、インガ驛、バンデイランテス驛、カンバラ驛等各驛より約十五キロの地點にして本線中に選ばれた唯一の地味肥沃（テーラ・ロツシア）マレツタの無い健康地です
二、無資本者には總べて植付けまで耕主から金策の便があります
三、家族の事情により旅費を貸與します
四、契約完了の人々には地主になれる便を與へます
五、社長はジヤカレジンニヨ市長で當地方の有力者です
六、御問合せの節は左記へ必ず家族人數もお知らせ下さい
七、契約締切は三月末です故一日も早く御契約下さい

安元青太
Mario Yassumoto
Rua Ebano Pereira, 22 - Curitiba
又は直接同社々長 Dr. João Aguiar
又は上記事務所へ御照會下さい

モダンポマード

三男久夫儀去る二月十一日ラツパ街道に沿ふ沼に於て不慮の溺死を遂げ翌十二日サンパウロ墓地に埋葬致し候間生前辱知諸賢に謹告申上候

追て葬送の際は御多忙中にも不拘遠路態々御會葬被下且つ過分の御香花料を賜り感謝に堪えず、一々拜趨御禮申上べくは本意に御座候へ共其意を得ず伺ひ漏れも有之可候條略儀乍ら紙上にて御禮申上度御挨拶申上候

昭和十六年二月

親戚總代 酒井良次 手塚駒治 堀川敏子 堀川テ忠 伯父 堀川齋ツ助 祖父 堀川道夫 弟 武夫 兄 芳子 姉 文夫 兄 文藏 父 堀川

"海の精鋭"戰艦ミナスエラエジ・スエラエス港へ サントス港に堂々たる偉容を現はした旗艦ミナス・ジエラエスはアルマゼン第五番に投錨したが、聖市からはアデマール・バーロス執政官の代理として司法長官モウラ・レゼンテ氏が艦隊司令長官フランシスコ・ミラネス少將を訪問した【寫眞上は戰艦ミナスジエラエス、下は同艦を公式訪問した聖州執政官代理モウラ・レゼンデ司法長官）

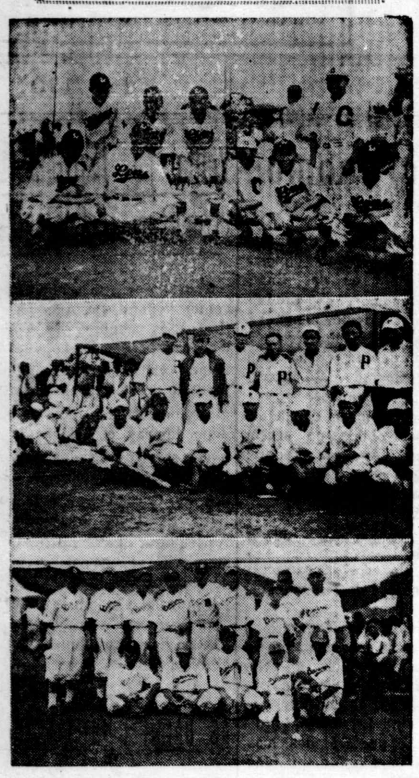
南大河州沖イーリヤ・グランデ方面で行はれた海軍大演習を終へた伯國海軍の精鋭旗艦ミナス・ジエラエス以下リオ・グランデ・ドースール、ピアウヒその他各艦は一昨日サントス港に碇

親こころ

いよ〳〵出るゾ！待望の棉花融資
溫情を見せる政府

聖州珈琲農業者に對する伯銀融資の報は農界を狂喜せしめてゐるが農村協會長アルベルト・ワテリー氏の言明するところによると、政府は棉花に對しても精棉アローバ當りの基準價格を四十五ミルとし、その八割を融資することになつた、即ち四十五ミルの八割三十六ミルが融資される譯である、なほこれを實棉について見ると棉作者に對し實棉アローバ當り蒔き付けより收穫までに七ミルが融資されることになる、一方珈琲への融資は十七日よりサントスに於ては伯銀よりの貸出しを依當り九十ミルに增額し、奥地に於ては評價の八割迄で貸し付けつゝあるこゝなつたと述べてゐる

白球一筋に競ふ



同胞の全面的連携へ
産業組合常務者懇談會を開く
來る廿八日成瀬總領事代理主催で

在伯邦人の九三%を占める農民層の大多數が確固たる農業的地位を築くためには先づ産業組結成によつて進んで行こうと産業組合中央會では各地産業組の强化と全面的在伯同胞の連携へ乘出してゐるが、來る二十八日午前九時より成瀬總領事代理主催の第七回産業組合常務者懇談會において開催する事となつた、なほ當日の諮問事項は次の通り「現下に於ける在伯邦人産業組合の實勢と廣く全面的在伯同胞への連携普遍化に關しその具體策如何」

産組中央會定期總會
二十七日開く

産業組合中央會では來る二十六日組合事務所に於いて理事會を開催、翌二十七日には本年度定期總會を開くことゝなつた

長期街

▽…聖市醫業野球聯盟ではスポーツ新體制に即應し邦人體育協會に加入する事となつたがその協議會が來る十七日午後八時より常盤ホテル廣間で開かれる

▽…高原療養地カンポス・ド・ジョルドンからの便りー同仁會肺療所の現在收容患者數は男四〇名、女三二名、合計七十二名で空床者に分讓した種卵及び成鷄は男子病室五、女子病室三計八とあるが、こういふのはあんまり繁昌しない方がよろしい

▽…サンパウロ鐵道ベルス驛において柔劍道聯盟聖西支部主催の柔劍道大會が十六日午前九時から行はれるが參加選手六十餘名で盛會を豫想されてゐる

▽…在伯邦人農界の參謀本部日伯農事協會のカシンギー養鷄場で昨年中に一般業界に分讓した種卵及び成鷄の數字は次の通り

△成鷄及雛一一六羽（プリモース四一、白色レグホン六三、ロード一二）△種卵一〇八二個（プリモース六三八、白色レグホン三二七、ロード一一七）

▽…「コンデ通れば二階から招く」ー例のバクチ場にこの頃サントスから上聖して來た夜を職場とするニッポン娘が毎夜の如く現はれ窓から顔を出しては一行の邦人と見ると呼びかけバクチに誘ひ先づ懷中を打診した上、あとは御一緒に參りませうとばかり活躍してゐる、このニッポン娘のほかにカモをさがしに女給までが出張して御座る

▽…けふ午後十二時半よりカナカオ球場で海軍對聖報の野球戰がある

これは耳より な話

チエテ移住地で發見
タンニン採取に乘出す
一擧兩得アラビヤ・ゴムもとれる

皮ナメシに是非なくてはならぬタンニン劑は從來ケブラチョ又は算結構間に合ふとの事で近くアカシアネグラ樹から主に採取されてゐたが、今度この兩樹に匹敵するアンジコ樹の密林がチエテ移住地で發見された

同移住地では未分讓地二万アルケールの實地踏査を行つてゐるが、調査中はからずもアンジコ樹の大密林に出合ひ早速八木橋、井上兩技師に調査を命じた處、この密林は相當廣範圍に亘るもので今後十年間タンニン劑を採つても採伐出來ない、衛生局でも市民の

アンジコ樹の大密林

アンジコ樹は伐木してこれに切目を入れると切目からはアラビア・ゴムの原料がとれ、その後の皮を剝いでそれからタンニン劑を採るといふ一擧兩得のものである由

バウル領事館の主決る
通商局勤務の外務理事官臼井健氏

バウルー領事館の主がようやく決つたーバウルー駐在領事は既報の如くパナマより大谷領事が赴任する事になつてゐたが、松岡旋風で同氏は轉朝を命ぜられ、バウルー領事館は依然として主なき館となつてゐたが、總領事館への情報によると今回通商局勤務の外務理事官臼井健氏が領事として赴任する事になつた

主婦の心得帖
腐敗魚が氾濫
衛生局で取締りに大汗

市内どこの肉屋に行つても冷買へる位なもの、フェイラなどでは三日も四日も過ぎて實はないが、魚屋となると僅かれ殘りを賣つてる危險極まる中央メルカードで安心してものもある、たゞさへうだる蔵設備の整つてゐないところに中央メルカードで安心してものもある、たゞさへうだる

烈日と共に沸る
三都市對抗野球戰
新興バウル軍花と散る

先頃マリリア・コロネル軍を一擧に塗れたリンス青年會野球部ではその後リンス學園の年少選手を中心にその强化に勉めて來たが去る九日新興バウルー軍を迎へ一戰を交へたが、丁度この日はプロミツソン軍の參加もあり再び三都市對抗野球戰を擧行するに至つた

◆バウルー對リンス戰

午前十時バウルー竹田氏の始球、齋藤（球）、木村、宇賀出、北原（墨）諸氏審判の下により軍先攻で開始されたバ軍一塁側、リ軍三塁側に陣取つて試合前既に鳴物入るの應援戰を開始、兩軍初めての顔合せとて慎重に對峙、新興バ軍が如何なる策戰によりリ軍に向ふかに興味がかけられてゐたが結局巧なリ軍は試合を上手に運行、各回に得點し六回までバ軍を無爲に封じ七回コールドゲームを思はせたが回より疲勞が全軍に及ぼし結で二點を返し七回で十一對二でコールドゲームは免かれ九回まで頑張つたが十八對三で玉碎した

バ軍の敗因は投手の起用誤りと打擊にムラがあるため折角のチャンスも逃がしてゐた

◆プロミツソン對バウルー

バウルー對プロミツソン戰は午後三時半より木村（球）、鈴木、佐藤、鈴木諸氏審判、プロミツソン、バウルー各チーム）

運動界に朗報
消解足不品
日本品など入荷

歐洲大戰の深刻化につれて從來ドイツ、英國舊臘二十七日横濱に着いたが同氏は海外で聞いた輸出品の評判につき語る

「歐洲戰爭の結果歐洲の雜貨が杜絶して弱つてゐました、殊にドイツ品が來ないのでその代りに日本品に注目してゐます、ところが日本から來る見込みがなくなつたので米國製を輸入してゐる

メードイン日本
不評判
視察者は語る

南阿、南米十四ケ國のわが綿製品雜貨の輸出調査に行つてゐた中村寅之助氏が北米經由から輸入されてゐた運動具

藥九層倍を監視
誇大宣傳の刊行物に斷

從來藥局や製藥會社などよりいふ樣でスポーツマンに誰なる形の刊行物が無制限に出てゐたが、先日の南阿丸でこれら陸上競技用藥の宣傳をかねた能書や頑々鳴を擧げさせてゐたが、州宣傳、刊行物監督局では今度これらを嚴重取り締ることゝなり、この種刊行物と雖も監督局の檢閲を受けずして發行することは出來ぬことゝなつたさる十三日右刊行物の第一回登錄許可が下されたが、屆出百件のうち四十件は却下された

近頃の暑さでは生魚の保存など不完全な冷藏設備では到底出來ない、衛生局でも市民の

ル中さがしても見つからぬといふ樣でスポーツマンに誰なる形の刊行物が無制限に出てゐたが、先日の南阿丸でこれら陸上競技用藥の宣傳をかねた能書や頑々鳴を擧げさせてゐたが、州宣傳、刊行物監督局では今度これらを嚴重取り締ることゝなり、この種刊行物と雖も監督局の檢閲を受けずして發行することは出來ぬことゝなつたさる十三日右刊行物の第一回登錄許可が下されたが、屆出百件のうち四十件は却下された

なほ同店では野球のグローブが日本から來る見込みがなくなつたので米國製を輸入してゐる

お台所に腐つたような生魚を供給しては大變だといふので最近小賣魚屋に嚴しい監督の眼を光らせてゐる、數日前も南リオ・グランデより冷藏設備を嚴にして届いた五千キロの生魚が全部腐敗してゐることを發見、衛生局では直ちにこれを沒收した事件があつたなほこの他最近の暑さでは腐敗が早いためか日々百數十キロの生魚が當局から小賣を禁止されてゐる

胃腸に エビオス

本品の質が惡くて困るといたるところで文句を聞きました、たとへば琺瑯鐵器など迄つて來たものを開けて見ると完全なものは一つもないといふことが多い、この組製振りと輸出檢査の組雜さでは將來の海外市場獨大は思ひもよらず、逆に今までの市場までも失ひかねません」

野菜部（産組中央（十五日）出張所調）

	安値	高値
▼トマテ特上（箱）	三・三〇	三・五〇
▼トマテ上（〃）	二・六〇	二・八〇
▼トマテ中（〃）	二・〇〇	二・二〇
▼レポーリヨ（袋）	一・五〇	一・六〇
▼エルヴイリヤ（箱）	二・〇〇	二・二〇
▼ピメントン（箱）	三・〇〇	三・六〇
▼バージエン（箱）	二・〇〇	二・二〇
▼ベビーノ（箱）	一・〇〇	一・二〇
▼パタクドーセ（俵）	一・〇〇	一・二〇
▼ポブリーニヤ（箱）	二・〇〇	二・二〇
▼セノーラ（束）	一・〇〇	一・二〇
▼コーベフロール	三・〇〇	三・二〇
▼ナス（箱）	二・〇〇	二・二〇
▼玉子（打）	三・〇〇	三・二〇

Deposito Dentario Masetti
Matriz : Rua Seminario, 131-135
Fones, 4-2768, 4-1017
Filial : R. Marconi, 138, 2º. and.
Sala, 202 - Fone. 4-0259
齒科醫諸君
義齒大量入荷
齒科用品定價表を御請求下さい
本店は齒科に關する用具を全部揃へてゐる唯一の店です

Ginasio Oriental
(Sob. Inspeção Federal Dec. 5.165)
Rua Maria Figueiredo, 85
Travessa da Avenida Paulista
入學受付開始
親切に誰にも覺えられる樣教授致します、男女共學
日本語無料教授
入學試驗の成績により授業料免除其他特典あり。
入學案内書申込あれ

求 シャカラ監理人
場所　南大河州ポルトアレグレ近郊シャカラ監理に經驗のある眞面目な日本人家族を雇ひ度し
御希望の方は希望條件記入左記宛御照會も乞ふ
K. HIGUTI - Caixa Postal, 375 - S. Paulo

募集
マキニスタ　一名
汽鑵操作に經驗ある方、履歷書御持參の事、直接面談左記へ。
聖市
カトザ東山
フロレンシオ・デ・アブレウ街三〇ー三三

O MESTRE DOS TONICOS
APERITIVO DE TODOS OS TEMPOS
FERRO CALCIO QUINA
Trentini
Fone.103 - S.Caetano - Est. de S. PAULO - BRASIL
最高級食慾促進榮養劑、マラリアに特効あり
規那鐵、カルシユーム（トレンチーニ製劑）
サン・パウロ・レイルウエイ線サン・カエータノ驛 電話103

ATILIO
ALFAIATE
R. Barão de Paranapiacaba, 92 5º. and. s. 52-53
S. PAULO（ラルゴ・ダ・セとキ・ボカユーバ街中間）
◇洋服を新調し度いが…
◇それは
アチリオ洋服店
が良いでせう
スマート叮嚀な御仕立
△△△△△御値段は大衆向き
△△△△△御支拂、月賦あり
△△△△△内外國製カジミーラ豐富
既に多數の日本人各位から御注文を頂いて居ます
アチリオで御新調なさらば御滿足されませう、きつと御氣に召しませう

歸國土産に〜伯國産珍品を
蝶羽、鰐皮、蜥蜴、獺及びスネーク・ウツド、ジヤカランダ其他伯國産木材等の細工物及び伯國名産アグアマリントパージオ（黃石）ツルマリナ（電氣石）等原石のまゝ又は加工品
どれもお土産として何誰にも喜ばれます、弊店特製、在庫豐富、價格至廉
Zitrin Irmãos
Matriz : R. Buenos Aires, 110-112 - Tel. 23-5810
Filial : Av. 1 de Branco, 19 - Telefone, 22-0037
Rio de Janeiro - Brasil

改正藥價
三十五ミル
ノミヨイ ヨクキク 肝油ハリバ
これなら愉快に誰でも服める！
胃腸の弱いこれまでの油と違ひ 小兒病 胃腸にも
肝の機能低下 消化がなく
きれず、小兒も病人も喜んで飲めます
伯國總代理店
西谷商會
各地有名藥店
商店に有り

Redacção e Administração
Rua Maestro Cardim, 1109
Teleph.: 7-3325 e 7-3326 - Cx. Postal 375
End. Telegraphico: "ASAHI"
SÃO PAULO - BRASIL

BRASIL ASAHI

DIRECTOR: José Yamashiro

ASSIGNATURAS:
PARA O BRASIL { Anno . . . . 60$000 / Semestre . 30$000
PARA O EXTERIOR - Anno . . 120$000
ANNUNCIOS — Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços p/ annuncios nesta folha

Anno I | São Paulo — Domingo, 16 de Fevereiro de 1941 | Num. 170

NOTAS E EDITORIAES

Por decretos de 13 do corrente, assignados pelo sr. Interventor Federal, foram nomeados para o Departamento Estadoal de Imprensa e Propaganda: dr. José Carlos Pereira de Souza, para exercer, em Commissão, o cargo de chefe da Divisão de Imprensa, Propaganda e Radio-Diffusão; dr. Ariovaldo Telles de Menezes para exercer, em commissão, o cargo de chefe da Divisão de Turismo e Diversões Publicas: dr. Manoel Ferraz de Campos Salles Netto, para exercer, em commissão, o cargo de chefe dos Serventes Auxiliares; dr. Oscar Muniz Pimentel para exercer, em commissão, o cargo de assistente-technico de publicidade, com prejuizo dos vencimentos do seu cargo effectivo, de redactor-chefe; dr. José Corrêia da Silva Junior para exercer, em commissão, o cargo de assistente-technico de turismo; dr. Enêas Machado de Assis, para exercer, em commissão o cargo de assistente-technico de radio-diffusão; padre João Baptista de Carvalho para exercer, em commissão, o cargo de redactor-chefe; dr. Ernani da Silva Bruno e Mario da Silva Britto, para exercerem, interinamente, os cargos de redactores, creados pelo decreto 11.849, de 13 de fevereiro de 1941.

***

"Nada mais justo do que o interesse com que se aguarda desde já, os resultados do censo já concluido no Districto Federal e alguns Estados e em conclusão, nos demais. Esse interesse é o de ver expressas com exactidão as cifras da população do paiz revistos os indices *per capita*, de tanta importancia estatistica e actualmente tão duvidosos, preparado afinal o lastro para todas as futuras investigações numericas nos differentes sectores da nossa vida economica e social.

Uma attitude que não seria legitima, no estado actual dos trabalhos censitarios, seria a de pressa, diga-se de impaciencia, para o conhecimento desses resultados. Não precisa o Serviço Nacional de Recenseamento invocar a velha sentença de que "a pressa é inimiga da perfeição", porque o essencial é realmente que todos possam confiar seguramente nas cifras apuradas.

A nossa escassa pratica censitaria contem já experiencias e ensinamentos que não devem ser esquecidos, como, por exemplo, o caso do censo demographico de 1900, que foi cancellado na parte referente ao Districto Federal, onde, em 1906, teve de ser novamente contada a população.

Só merece sympathia a multiplicidade de providencias adoptadas em differentes circumstancias, sempre no sentido de assegurar a mais absoluta fé aos resultados a serem fornecidos.

As estimativas officiaes estão servindo de ponto de referencia e, tomadas em consideração, podem mesmo aconselhar a revisão dos trabalhos porventura já dados por concluidos, afim de que os numeros apresentados como definitivos o sejam, de facto.

A iniciativa de premiar, com dinheiro, a denuncia de qualquer domicilio não recenseado em grandes centros urbanos, com resultados tão significativos em Porte Alegre, em varias cidades mineiras, no Recife, é uma demonstração dos propositos dos responsaveis pelo recenseamento de 1940, cujo objectivo essencial é a exactidão, quaesquer que sejam os esforços exigidos para alcançal-a".

(Communicado do S. N. R.)

Não ha perigo de guerra no Pacifico

Declarações do porta-voz do Gabinete japonez

Tokyo, 14 (D.) — Na ultima entrevista com os jornalistas, o sr. Koh Ishii, porta-voz do Departamento de Informações do Gabinete, declarou que não obstante densa atmosphera reinante no a Pacifico, não ha perigo de guerra.

Todavia, toda a nação deve preparar-se para poder enfrentar quaesquer imprevistos.

Respondendo á pergunta feita pelo correspondente de um jornal francez, sobre as actuaes relações yankee-nipponicas, o sr. Ishii affirmou que nos meios diplomaticos metropolitanos, circulam varios boatos acerca de um possivel encontro no Pacifico.

Interrogado sobre a recente ordem expedido pelo governo hollandez para que suas embarcações somente entrassem nos portos das nações neutras, o porta-voz do Gabinete japonez respondeu não ter recebido nenhuma informação official que confirmasse tal noticia.

Referindo-se ás negociações entre as Indias Neerlandezas e o Japão, o porta-voz declinou de fazer commentarios, tendo adeantado apenas que taes demarches entre as partes interessadas ainda não tinham attingido a um accordo definitivo,

Solicitada a sua opinião a respeito da declaração do primeiro ministro da Australia, feita no dia 12 proximo passado, em que o "premier" australiano frisou o perigo dominante no Norte-Pacifico, não obstante os esforços envidados pelo governo australiano para que a tranquilidade não fosse perturbada naquella parte do mundo, o sr. Ishii declarou que o Japão tencionava manter e incrementar as relações amistosas com todas as nações do Pacifico, tal como já demonstrou pela troca de representantes diplomaticos com a Australia sendo certo que, brevemente, partirá para o Canadá o novo ministro do Japão para assumir o seu posto.

Bombardeada a arteria commercial de Burma

Tokyo, 13 (D.) — Unidades da aviação imperial estão levando a effeito intensos bombardeios da arteria commercial de Burma.

Segundo noticia um communicado distribuido pelo commando das forças navaes nipponicas em acção nos mares da China do Sul, uma esquadrilha aerea, formada de 5 apparelhos, atacou hoje a referida rota e bombardeou violentamente a velha ponte de Kungkuo, sobre o rio Mekong.

As obras da nova ponte metallica de Kungkuo, affirma ainda o mesmo communicado, foram abandonadas após o ataque aereo nipponico de Outubro de 1940, e mais de 250 caminhões foram obrigados a parar nas suas vizinhanças.

Outra formação aerea japoneza voou sobre a cidade de Kumming, atirando numerosas bombas incendiarias ás installações militares.

O governo imperial aconselha calma aos japonezes da America

Tokyo, 15 (D.) — O aggravamento extraordinario da situação do Extremo Oriente, tratado com tendencioso sensacionalismo pela imprensa de Mexico City e outras localidades do Continente Americano, está causando serias apprehensões ás emprezas japonezas e nipponicos residentes naquelle continente.

O sr. Ishii, chefe da 3.a secção do Departamento de Informações do Gabinete, declarou hoje o seguinte, para pedir aos compatriotras calma e ponderação:

"As noticias sensacionalistas propaladas no Continente Americano, sobre a crise das relações nippo-norte-americanas estão causando, segundo estamos informados, serias apprehensões aos nossos compatriotas residentes no referido continente. Entretanto, não obstante acharem-se em difficuldades as nossas relações com os Estados Unidos, não se pode affirmar que ellas venham resultar em guerra. Naturalmente os governos dos dois paizes tomarão medidas para evitar tal situação. A propalação de noticias de aggravação da tensão, é feita, segundo cremos, com segundas intenções. O governo deseja que os nipponicos residentes no continente americano mantenham-se calmos, dedicando-se aos seus trabalhos productivos, evitando qualquer oscillação nas suas attitudes."

Monopolio do arroz?

Uma declaração do vice-ministro da Agricultura

Tokyo, 13 (D.) — Na Commissão do Arroz da Camara dos Representantes o sr. Ino, vice-ministro da Agricultura e Floresta respondendo a uma interpellação sobre o projecto de controlle nacional do arroz, declarou:

"Estamos hoje executando um controlle do arroz que se approxima de um verdadeiro monopolio de Estado.

E os resultados teem sido satisfactorios até hoje. Esperamos continuar com o mesmo processo, observando serenamente os seus resultados. Caso seja necessario, avançaremos mais um passo, transformando-o em monopolio".

Soldados do exercito communista chinez rendem-se ás forças imperiaes

Tokyo, 12 (D.) — Numerosos soldados e officiaes do 4.º exercito chinez recentemente dissolvido pelo regimen Chang, entregaram-se ás tropas imperiaes.

No contingente chinez que acaba de render-se ás tropas nipponicas, encontram-se 423 soldados da extincta divisão commandada pelo general Ruangweilin.

O noticiario Telegraphico publicado pelo "BRASIL ASAHI" é fornecido pela Agencia Dômei, japoneza.

Concurso para Agronomos

Já se acham abertas, no Departamento Administrativo do Serviço Publico, com sede no Districto Federal, as inscripções para o Concurso a ser realizado naquella Capital, em Bello-Horizonte, em São Paulo e em Porto-Alegre, para o preenchimento das vagas iniciaes da carreira de agronomo, existentes no Ministerio da Agricultura. As inscripções serão encerradas no dia 21 de Março proximo, sendo exigido, além dos documentos pedidos para inscripção em qualquer concurso para provimento de cargos publicos, o diploma de "Agronomo" ou de "Engenheiro Agronomo", expedido na forma da lei e devidamente registrado naquelle Ministerio. O interessado deverá ter, na data do encerramento das inscripções, de 18 a 38 annos.

Informações mais detalhadas poderão ser obtidas na secção de Fomento Agricola Federal, com sede no nono andar do Predio Matarazzo — Ladeira dr. Falcão, 56.

Inauguração da nova phase da Loteria Paulista

Foi hontem, solennemente inaugurada a nova phase do Serviço de Loterias do Estado, agora subordinado ao gabinete do Chefe de Policia e entregue pelo sr. Carneiro da Fonte á direcção do major Mario Rangel.

A's 14 horas, precisamente, chegava ao edificio da rua José Bonifacio, onde é feita a extracção da Loteria e estão localisados os escriptorios daquella repartição, o dr. Carneiro da Fonte, acompanhado de seu assistente militar. Recebido pelo major Mario Rangel e pelos srs. Augusto Gonzaga, chefe do Gabinete de Investigações e Juvenal de Toledo Piza, delegado de Jogos, foi aquella alta auctoridade acompanhada até ao recinto onde é feita a extracção e ahi depois de cumprimentado pelos jornalistas alli presentes e pelos fiscaes federaes destacados para prestar serviços junto á Loteria do Estado, assistiu á sahida dos primeiros numeros da extracção dos cem contos de reis que hontem se realizou.

Em seguida o dr. Carneiro da Fonte, sempre acompanhado pelas pessoas presentes e pelos funccionarios da Loteria do Estado, percorreu as dependencias localisadas no 1.º andar, inteirando-se das necessidades mais prementes para que o seu funccionamento se faça de forma mais efficiente.

Ao sahir o Chefe de Policia, falando á reportagem, teve opportunidade de affirmar a sua esperança de que, com a nova orientação que dentro em breve, vae ser dada ao Serviço, ha de o mesmo corresponder plenamente aos fins por que o Estado chamou a si a responsabilidade de tão importante realisação.

Sementes de Trigo

A chefia da Secção de Fomento Agricola Federal, com séde no nono andar do Predio Matarazzo, communica aos lavradores que encerra, este mez, o prazo para recebimento dos pedidos de sementes de trigo e centeio, a serem distribuidas, gratuitamente, entre os agricultores de S. Paulo, para o plantio da presente safra.

Os pedidos deverão ser feitos em formulas impressas, as quaes poderão ser encontradas na séde daquella repartição, nesta Capital, ou nas Prefeituras Municipaes, no interior.

Estação de pesca com redes

Por intermedio do Departamento Estadoal de Imprensa e Propaganda, a Secção de Caça e Pesca communica aos interessados que a partir de hoje, fica aberta, em todo o Estado, a estação de pesca com redes (poitas) tarrafas, etc.

Impressos?
Procure a typographia
NIPPAK-SHA
C. P. 375 — Teleph. 7-3325

Visita ao Instituto de Pesquisas Technologicas

Convidados pelo senhor Interventor Federal, Dr. Adhemar de Barros, os membros do Conselho de Expansão Economica do Estado, visitaram ante-hontem o Instituto de Pesquisas Technologicas, percorrendo todas as suas dependencias especialmente os novos serviços, criados pelo actual governo. Compareceu, além dos srs. Conselheiros, o sr. José Levy Sobrinho, secretario da Agricultura, Industria e Commercio. Na ausencia do sr. Adriano Marchini, director do I. P. T., ausente da Capital, dirigiu as demonstrações o dr. João Luiz Meiller, technico daquella importante instituição.

AS DAINISEI INTELLECTUAES

(16)

16 II-1941

Uma tarde, alguem me veio com uma moça nisei (sorte que não me era para presente!) e falou: "Olhe aqui, apresento lhe a... Ohara. E' uma modinha que tem muito para dizer sobre as dainisei intellectuaes. Converse com ella". Aquella talda... Ohara começou logo dizendo: "Ah! Vocês são jornalistas? E o que querem é uma entrevista? Pois fiquem sabendo que eu não dou entrevistas. Não digo nada, nada. E' melhor perguntar para outras moças". Depois, com certeza, deve ter dado meia-volta e desapparecido, pois sumiu de nossa frente.

* * *

Massami Hirota, da Escola Polytechnica e thesoureiro da Liga, perguntado sobre a questão, teve as seguintes palavras:

— Ainda não tive opportunidade de pensar sobre o problema. Aliás, essa pergunta nunca me passou pela mente, apesar de viver em ambiente de muitas nisei.

* * *

Outro dia, uma nisei reclamou, dizendo que não era verdade que uma outra havia se diplomado pela Escola Normal do Braz, como sahira escripto nesta columna, mas que concluira apenas o curso gymnasial. Aquillo appareceu escripto daquelle modo, dada a informação que nos foi prestada pelo pae da citada nisei. Em todo o caso, aqui fica a rectificação, se a interessada não vir reclamar. — *M.*

Onde a Mentira Salta aos Olhos...

O desastre aviatorio em que pereceu o almirante Osumi e a falsa propaganda chineza

KANTON, 13 (D.) — Useiros e vezeiros da propaganda falsa, os dirigentes do governo de Chungking estão aproveitando o accidente em que perderam a vida o almirante Osumi e varios officiaes japonezes para uma intensa divulgação de noticias falsas. Para fazer calar taes informações destituidas de qualquer fundamento, o chefe do Serviço de Informações da Esquadra Imperial do Sul da China, declarou o seguinte:

"O accidente que soffreu o apparelho militar já é do conhecimento publico, conforme o Ministerio da Marinha divulgou. O inimigo soube do occorrido somente pelo nosso communicado. Surprehendeu-se e alegrou-se para, a seguir, noticiar falsamente que o avião tinha sido abatido por forças de Chang-Kai-Chek.

O accidente occorreu no dia 5 e o respectivo communicado official foi publicado no dia 8. O inimigo começou a fazer ruido somente a partir do dia 9. Mesmo por ahi se vê, como o inimigo estava "dormindo". Chang-Kai-Chek pode continuar tocando flauta, mas o povo chinez não mais dançará ao seu som. Sua propaganda é destituida de qualquer força".

Pontos de Contacto entre o Christianismo e o Tenrikyo

J. B. Dubjeux

A reacção surgida e fomentada pelos homens que possuiam a direcção do paiz, é semelhante na vida dos dois thaumaturgos, e, ainda que a differença de ambiente, epocha e educação ethnica, fizesse arrastar á cruz o Christo, a existencia de Miki não foi uma senda de rosas, mas, de atrozes perseguições.

Para coroar tantas semelhanças, a ascensão de Jesus tem perfeita paridade com a de Miki. Ambos, deificados, não podem permanecer na terra, porém, sobre o solo onde os dois thaumaturgos se mantiveram pela derradeira vez, os seus fieis partidarios souberam manter a lembrança, erigindo monumentos e santificando a região.

A idéa de santificação do logar onde nasceu e morreu Miki, tem paridade com a concepção christã de denominar "Terra Santa" á Palestina, como os crentes do Tenrikyo, que chamam "Sacra Região" à O-Jiba. Todavia, não pertence, exclusivamente, ao Christianismo e ao Tenrikyo o costume de santificar esses logares, pois, o monte de onde se realizou a ascenção de Nichiren, o santo monge buddhista, é, egualmente, considerado santo, assim como a cidade de Mecca é santificada pelos mussulmanos, por ser a cidade natal de Mahomet.

Outro ponto de contacto entre o Christianismo e o Tenrikyo consiste em ter Miki determinado o logar de reunião final da humanidade, o **Kanrodai**, para iniciar-se a glorificação e a paz do genero humano, na propria Terra Santa, em **O-Jiba**, como o fizeram o Christianismo e o Judaismo, localizando essa região no Valle de Josaphat.

O Tenrikyo é, no Extremo Oriente, a unica religião monotheista, pois, todas as outras tiveram o seu berço na Asia Occidental (o Mahometismo, na Arabia; o Judaismo e o Christianismo, na Palestina).

E' fora de duvida que o Deus-Pae, annunciado por Miki, tem profundas analogias com o Pae, exposto no quarto Evangelho, cuja auctoria é attribuida a São João, o Discipulo Amado.

O arrebatado sentimento do mais extremoso amor que Miki demonstra ter pelo Deus-Pae, é perfeitamente identico aos transbordamentos de amor, com que São João descreve certas passagens da vida publica de Jesus.

Miki aponta o Deus-Pae, como o Creador das coisas e dos seres, como uma Entidade plena de amor pelos homens, suas creaturas. Jesus descreve o Pae, como uma Divindade transbordante de amor, prompto para perdoar todas as faltas das suas creaturas.

N'este pormenor, o Judaismo e o Islamismo distanciam-se muito das outras duas crenças monotheistas, porquanto Jeovah (1), o Deus dos israelitas, e Allah, o Deus dos Mahometanos, carecem d'esse transbordamento amoroso, esse interesse pelas suas creaturas. O temor e o excessivo respeito se anninham no coração dos seus crentes, ao passo que, para o Christianismo e o Tenrikyo, cada crente acalenta em seu seio uma flamma de amor e, mesmo, de carinho, para com o seu Deus, amor e carinho esses, sufficientes para, prodigamente, distribuir aos seus semelhantes, de accordo com a lei do Hinagata, ou da Caridade.

Portanto, somente a essas duas crenças pode ser applicado o lemma de Miki.

Deus é o Pae do Genero Humano e o Homem é o Filho de Deus.

Examinando-se de relance, os livros sagrados do Tenrikyo, muitas são as analogias encontradas entre essa crença e o Christianismo.

No **Doro-Umi-Keki** (Historia do Mar de Lodo), por exemplo, encontra-se uma serie de contos moraes, de caracter semelhante ás parabolas de Jesus, que, egualmente, buscava illustrar os seus ensinamentos com exemplos materializados, ou antes, terrestres.

(Continúa no proximo numero)